春山小だより

【学校教育目標】「他者とつながり、未来に向けて主体的に学び続ける子の育成
【めざす児童像】「自分の考えをもつ子」「思いやりのある子」「心も体もきたえる子」
【研究テーマ　】「考えを深められる子の育成　～対話的活動を通して～」
福井市文京３丁目 13-1　　TEL：(0776) 22-8808
Mail：haruy-e@fukui-city.ed.jp

R８.7.17
第４号
文責：校長

避難訓練・防災設備研修





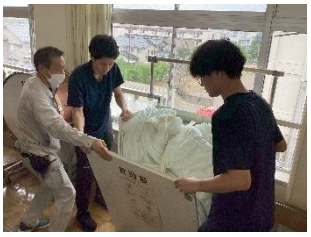


６月 25 日、地震が発生し、その後火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。緊急放送の指示を受け、児童は頭部や体を守るために机の下に入りました。さらに、火災発生の放送を聞き、教員の誘導に従いながら整列して避難することができました。訓練ではありましたが、放送をしっかりと聞く態度や落ち着いて避難する様子は大変よかったと思います。

今年は、防火扉が閉まった状態での避難も取り入れました。普段は閉まることのない扉が閉まっていても、扉の一部を手で開けて避難できることや、少し段差があるため足元に注意して通行する必要があることなどを、体験を通して学ぶことができたと思います。

放課後には、教職員を対象に救助袋の設置方法や、それを使った避難方法についての研修を行いました。３階教室での設置方法だけでなく、地上での準備が必要であることや、児童が安全に降下避難できるような指示の出し方、さらに避難にはかなりの時間を要することなどを学ぶことができました。初めて救助袋を扱う教職員も多く、大変有意義な研修となりました。また、各階に設置されている消火栓についても、ホースの接続方法や放水時の操作方法、使用時の注意点などを再確認することができました。いざというときに正しく使用できるよう備えを進めていますが、何よりも大切なのは火災を発生させないことです。今後も火災につながる危険がないよう十分に注意するとともに、日常の点検を徹底していきたいと考えています。











七夕に願いを



七夕に向けて、オアシスホールに笹の葉が設置されました。子どもたちは短冊に願いごとを書き、思い思いに飾り付けをしていました。「家族が健康でありますように」「習い事が上達しますように」「将来の夢がかないますように」など、子どもたちの願いが込められた色とりどりの短冊が児童玄関を彩りました。笹の葉を設置していただいた図書ボランティアの皆様、ありがとうございました。

春山小学校ホームページには、おたよりや学年行事の記事・写真が記載されています。ぜひご覧ください。

橋本左内先生を学ぶ会





　左内塾の皆様をお迎えし、「橋本左内先生を学ぶ会」を開催しました。
　はじめに、プロジェクターを使った紙芝居や、橋本左内、松平春嶽、徳川慶喜、井伊直弼などに扮した方々による演技を通して、左内先生の生涯について分かりやすく紹介していただきました。また、『啓発録』に示された五訓についても、一つ一つ丁寧に教えていただきました。後半はグループに分かれ、少人数でお話を伺いました。子どもたちの質問にも丁寧に答えていただき、左内先生の人物像や功績について理解を深めることができました。
　お話を伺う中で、左内塾の皆様が春山地区に誇りをもち、郷土を大切に思う熱い思いをもって活動されていることも伝わってきました。橋本左内先生についての理解を深めるとともに、ふるさとへの愛着や郷土を誇りに思う気持ちについて考える貴重な機会となりました。

植物を育てる活動を通して

　春に植えた種や苗が大きく育ちました。子どもたちはこれまで、植物の小さな変化に気づき、それを楽しみにしながら、水やりなどのお世話を続けてきました。そのかいあって、アサガオやホウセンカは花を咲かせ、トマトやキュウリ、ナスは次々と実をつけました。また、ジャガイモもたくさん収穫することができました。子どもたちは植物の生長や収穫の喜びを味わいながら、命を育むことの大切さについて学ぶことができました。







学校かくれんぼ

　７月 15 日の大休みに、全校児童と教職員が参加して「学校かくれんぼ」を行いました。これはテレビ番組を参考に、プロジェクト委員会の子どもたちが企画し、担当教員と打ち合わせを重ねながら実施したものです。はじめに全校児童が体育館に集まり、ルールを確認した後、子どもたちは学校中を探し始めました。ロッカーの中、カーテンの裏、そして普段は置かれていない段ボール箱の中など、さまざまな場所を隅々まで探していきます。子どもたちは、学校内に隠れた児童 22 名と教職員８名を見つけるため、友達と力を合わせて校内を探し回りました。
　教職員と全校児童が楽しいひとときを共有できる、素晴らしい企画でした。こうした子どもたちの「やってみたい」という思いを大切にし、その実現を支援しながら成功体験を積み重ねていけるよう、これからも取り組んでいきたいと改めて感じました。

いよいよ夏休み

　いよいよ来週から夏休みが始まります。夏休みに向けての集会では、普段できないことにじっくりと取り組んでほしいということや、普段の生活の中で「なぜだろう」「不思議だな」と感じたことを大切にし、自分で調べたり実験したりしてほしいという話をしました。また、生徒指導担当からは、安全に過ごすことや遊ぶときにも相手や周囲を思いやる気持ちをもつことの大切さについて話がありました。夏休み中は、子どもたちだけで過ごす時間も増えることと思います。ご家庭でも安全な過ごし方やルール、マナーなどについて話し合っていただき、事故やけがのない、充実した夏休みとなることを願っています。







